

新型コロナウイルス感染症中和抗体薬 「エバシエルド」が承認されました！

先日 web レターでお知らせしましたとおり、新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬「エバシエルド（筋肉注射剤）」が 8 月 30 日に承認されました。エバシエルドは、ワクチン接種では十分な免疫の獲得が期待されない者に対するウイルス曝露前の投与（発症抑制目的の投与）を対象としては日本で初めて承認されました。

現状、安定的な供給が難しいことから、一般流通は行わず、当面の間、厚生労働省が所有した上で、エバシエルド特有の効能である発症抑制目的での投与についてのみ（現段階では）、医療機関からの依頼に基づき無償で譲渡されます。

そのためエバシエルドは在庫が認められておらず、病院が患者に投与するには病院から都道府県への申出が必要です。投与を希望される方はまず、主治医の先生にご相談ください。厚生労働省が公開している都道府県への事務連絡の QR コードを右に提示いたします。受診の際の主治医の先生とのコミュニケーションにご活用ください。



注意事項

投与対象患者は **12 歳以上**、抗体産生不全あるいは複合免疫不全を呈する原発性免疫不全症の患者、慢性移植片対宿主病を患っている、又は別の適応症のために免疫抑制薬を服用している造血細胞移植後のレシピエントなど、とされていますが、**原発性免疫不全症のすべての患者が適応となるわけではありません。**ご自身が投与対象となるかどうか判断に迷う場合または投与可能な施設かどうかについては主治医の先生にご相談ください。

エバシエルド
に関する
簡単 Q&A



Q: コロナワクチンは腕に打ちますが、エバシエルドも腕に打つのでしょうか？

A: エバシエルドは 2 種類の抗体薬からなり、投与量も多いため、それぞれの薬を左右の臀部（おしり）に筋注します。

Q: エバシエルドを打った後はコロナワクチンのように発熱などの副作用はありますか？

A: 筋注後の痛みをほとんどの患者さんが訴えますが、一過性であり、しびれや歩行困難はありません。抗体薬のため、アナフィラキシー反応が懸念されますが、今のところ報告はありません。

Wing35 号でもお知らせしましたように、当会は日本免疫不全・自己炎症学会と共に 2021 年 12 月 20 日に厚生労働副大臣へ PID 患者へのエバシエルドの早期使用実現を求める要望書を提出しました。この度の承認を受け、先生方と共にこのような活動ができたことは大変意義深いことであったと改めて実感しております。先生方、本当にありがとうございました。